

平成31年度
(2019年度)

第3年次特別編入学 学生募集要項

出願期間	平成30年8月6日(月)～8月10日(金)
試験日	平成30年8月31日(金)
合格発表	平成30年9月7日(金)

平成30年6月



国立大学法人 琉球大学工学部

<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp>

目 次

○工学部入学者受入れの方針	1
1. 募集人員	2
2. 編入学の時期及び年次	2
3. 出願資格	2
4. 選抜方法及び試験日程	3
5. 配点	3
6. 試験当日の集合場所及び集合時刻	4
7. 採点・評価基準及び合否判定基準	4
8. 出願手続	6
9. 受験に関する注意	7
10. 合格者の発表	8
11. 追加合格・第2次募集	8
12. 入学手続及び諸経費	8
13. 編入学後の単位認定及び履修	9
14. 第3年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い（高等専門学校出身者）	9
15. 受験時における合理的配慮等について	10
16. 東日本大震災又は熊本地震により被災した 平成31年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置	11
17. 出願に関する第2志望の取扱い（機械工学コース，エネルギー環境工学コース）	11
18. 試験会場案内図	12
19. 琉球大学案内図	13

第3年次特別編入学学生募集要項等請求先／受験に関する問合せ先

- ・第3年次特別編入学学生募集要項の郵送を希望する場合は、封筒の表に『第3年次特別編入学募集要項請求』と朱書きし、『受信先を明記し切手を貼った返信用封筒（角型2号 縦33cm×横24cm）』を同封して請求してください。普通郵便の場合：205円，速達郵便の場合：485円

琉球大学工学部学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL 098-895-8583（直通） FAX 098-895-8590
E-mail kggakmu@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学工学部 Web ページ <http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>

琉球大学入試課 Web ページ <http://www.u-ryukyu.ac.jp/admission/index.html>

○工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

1. 教育理念・目的

（機械工学コース）

機械工学の基本的な学問体系を教授し、幅広い教養と技術者倫理、自らの知識・能力を活かして機器の設計、製造、研究開発に取り組めるものづくりの基礎、変化する環境に対して自らの力でこれら高められる自己学習能力を身につけ、国内外で幅広く活躍できる人材を育成することを目的とします。

（エネルギー環境工学コース）

エネルギー・環境問題を考慮し、エネルギー源や環境負荷低減技術の開発と利用、およびエネルギーの効率的な変換や制御と、環境に配慮した材料の知識に加えて、化学、環境、マネジメント工学などを学ぶことで、幅広い専門的な知識を有するとともに、それら複合分野を統合マネジメントし、総合的な問題であるエネルギー・環境分野に対応できる人材を育成することを目的とします。

（電気システム工学コース）

現代社会の基盤である電気エネルギーの効率的な発生や変換技術に加えて、人口減少や超高齢化社会に向けて持続可能な社会の形成に必要とされる再生可能エネルギーやロボットの活用を推進していくため、電気工学やシステム制御工学の専門知識を有し、幅広い視野と柔軟的思考を兼ね備えた人材を育成することを目的とします。

（電子情報通信コース）

進展する高度ICT社会において、それらを根幹から支えるエレクトロニクス技術と情報通信技術の基礎知識を有し、さらに情報通信機器の高機能化を実現する集積回路技術や新機能デバイス、高度通信技術、高度センシング技術などの専門知識を備え、情報通信、エレクトロニクス、またその融合分野で活躍できる人材を育成することを目的とします。

（社会基盤デザインコース）

亜熱帯性・島嶼性・海洋性の地理的特性を活かした環境調和型の工学的価値を創造し、空港、港湾、離島架橋、道路、鉄軌道を含む公共交通システム等、地域の観光リゾート産業を支える持続可能な社会基盤を創成するとともに、環境共生、災害リスク軽減、社会資本の長寿命化、および新エネルギー開発に関わる海洋・海底資源開発等の技術的ニーズに対応できる人材を育成することを目的とします。

（建築学コース）

地域的課題の解決に資する役割を負って国内および国際的に活躍できる素養を身につけるため、亜熱帯島嶼地域の自然・社会・文化的条件のもとでの建築と地域環境のあり方を深く探求するとともに、普遍的な建築関連技術を修得することにより、自然と調和し安全で快適な建築物、それらの集合した都市・地域を計画・設計・建設・管理できる技術者を育成します。

（知能情報コース）

論理的思考力と自然科学の知識を基盤として知能情報分野の専門知識・実践力・デザイン能力・解析能力および幅広い教養と技術者倫理・能動的学習能力を修得するとともに、知能情報技術が社会と人間および環境に与える影響と使命を深く理解し、知能・情報・システムの先端技術を通じて国際的視点に立って柔軟かつ自律的に活躍できる技術者を養成します。

2. 求める学生像

（各コース共通）

- (1) 工学を学ぶ意欲と目的意識を有し、高等学校で学んだ基礎学力を身につけた人
- (2) 修得した知識等を活用するための思考力、判断力、表現力を身につけている人
- (3) 様々な諸課題を与えられた条件下で最良の結果を得るために主体的に努力できる人

【特に第3年次特別編入学で求める学生像】

各コースの専門分野に関する基礎的な知識及び学力を有し、さらに高度な専門知識と技術を身につけるために自ら積極的に学ぼうとする人。

3. 高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等

（各コース共通）

本学科が指定している受験科目を履修していることが望ましい。数学、物理、特に微分・積分は本学科の学習内容に密接に関係しているので、確実に身につけておくことが必要です。

4. 入学者選抜の基本方針

○3年次編入

（各コース共通）

第3年次特別編入学入試では学力検査及び面接を課しています。学力検査では各コースの専門分野に関する基礎的な知識・技能と思考力を評価します。面接では学習意欲、表現力や主体性を評価します。

1. 募集人員

工学部工学科の募集はコース毎に行います。（※各コースの人数は目安人員です。）

工学部工学科（計20名）			
機械工学コース	3名	エネルギー環境工学コース	2名
電気システム工学コース	2名	電子情報通信コース	3名
社会基盤デザインコース	2名	建築学コース	2名
知能情報コース	6名		

2. 編入学の時期及び年次

平成31年4月入学とし、第3年次とします。

修業年限は2年とします。ただし、修業年限の2倍を超えて在学することはできません。

3. 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2) 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所又は旧国立養護教諭養成所を卒業した者及び平成31年3月31日までに卒業見込みの者
 - (3) 工業及び工業に関する分野の専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者（学校教育法〈昭和22年法律第26号〉第90条第1項に規定する者に限る）及び修了見込みの者
- ※文部科学大臣の定める基準とは、「修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上」である。
- (4) 修業年限4年以上の他の大学に2年以上在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得した者及び平成31年3月31日をもって2年間在学（休学期間を除く）し、62単位以上を修得見込みの者
 - (5) 学校教育法施行規則附則第7条の規定により大学の第3年次に編入学できる者
 - (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
 - (7) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（学校教育法〈昭和22年法律第26号〉第90条第1項に規定する者に限る。）及び平成31年3月31日までに修了見込みの者

4. 選抜方法及び試験日程

コース	学力検査		試験日	時間
機械工学コース	筆記 (専門科目)	材料力学, 機械材料・工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学の5科目の中から出願時に2科目選択		
	面接		13:00~	
エネルギー 環境工学コース	筆記 (専門科目)	材料力学, 機械材料・工作法, 流体力学, 熱力学, 制御工学の5科目の中から出願時に2科目選択	9:30~11:30	
	面接		13:00~	
電気システム工学 コース	筆記	数学(微分方程式, 線形代数学)	9:00~10:30	
		専門基礎(電磁気学, 回路理論)	10:45~12:15	
	面接		13:30~	
電子情報通信 コース	筆記	数学(微分方程式, 線形代数学)	9:00~10:30	
		専門基礎(電磁気学, 回路理論)	10:45~12:15	
	面接		13:30~	
社会基盤デザイン コース	筆記	構造力学, 水理学, 土質力学	10:00~11:30	
	面接		13:00~	
建築学コース	筆記	大学基礎科目 (英語, 数学, 物理)	10:00~11:30	
	面接 (口頭試問を含む)		13:00~	
知能情報コース	筆記	数学(微分積分学, 線形代数学), 情報工学(コンピュータ・アーキテクチャ, アルゴリズムとデータ構造)	10:00~11:30	
	面接		13:00~	

※暴風警報の発令等で上記期日に試験が実施できない場合は, 9月3日(月)に試験を行います。

5. 配点

学科	筆記	面接	合計
工学部工学科	200	100	300

6. 試験当日の集合場所及び集合時刻

コース	集合場所	科目等	集合時刻
機械工学コース	4号館3階301（機械自習室）	専門科目 面接	9：15 12：45
エネルギー環境工学コース	4号館3階301（機械自習室）	専門科目 面接	9：15 12：45
電気システム工学コース	3号館1階102（大講義室）	専門科目 面接	8：30 13：00
電子情報通信コース	3号館1階102（大講義室）	専門科目 面接	8：30 13：00
社会基盤デザインコース	2号館4階409b	専門科目 面接	9：30 12：30
建築学コース	1号館3階308（リフレッシュルーム）	専門科目 面接	9：30 12：30
知能情報コース	1号館3階321	専門科目 面接	9：30 12：45

※試験開始時刻（面接（口頭試問を含む）においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。

7. 採点・評価基準及び合否判定基準

コース	採点・評価基準	合否判定基準
機械工学コース	<p>〈筆記試験（専門科目）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の専門分野に関して基礎力を確認する試験を課す。 解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をおおして，意欲や個性などを評価し，点数化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験，面接を点数化し，総合得点で順位付けを行い，合否を判定する。 総合得点の上位から順次合格とする。ただし，成績によっては合格者が目安人員を下回る場合もある。 総合得点と同点の場合，同点者は全員同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者すべてを合格者とする。 筆記試験の各科目及び面接のいずれかでも欠席又は0点の者については，不合格とする。
エネルギー環境工学コース	<p>〈筆記試験（専門科目）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の専門分野に関して基礎力を確認する試験を課す。 解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をおおして，意欲や個性などを評価し，点数化する。 	

コ ー ス	採点・評価基準	可否判定基準
電気システム工学 コース	<p>〈筆記試験（数学・専門基礎）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門に関する基礎学力を確かめるために、数学、専門基礎の試験を課す。解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願理由・動機、将来計画及び長所・特技のアピールなどの質疑を通して意欲や個性などを評価し点数化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験、面接を点数化し、総合得点で順位付けを行い、可否を判定する。 ・総合得点の上位から順次合格とする。ただし、成績によっては合格者が目安人員を下回る場合もある。 ・総合得点と同点の場合、同点者は全員同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者すべてを合格者とする。 ・筆記試験の各科目及び面接のいずれかでも欠席又は0点の者については、不合格とする。
電子情報通信 コース	<p>〈筆記試験（数学・専門基礎）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門に関する基礎学力を確かめるために、数学、専門基礎の試験を課す。解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願理由・動機、将来計画及び長所・特技のアピールなどの質疑を通して意欲や個性などを評価し点数化する。 	
社会基盤デザイン コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会基盤工学に関する専門学力を確かめるために、構造力学、水理学、土質力学の試験を課す。 ・解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物、勉学意欲などについて質疑を行い、点数化する。 	
建築学コース	<p>〈筆記試験〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学で学ぶ上で必要な基礎学力（英語、数学、物理）を確かめるための筆記試験を課す。 <p>〈面接（口頭試問を含む）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築学の基礎的知識を確かめるための口頭試問、および、学習意欲、コミュニケーション能力（理解力、論理性、表現力）を確かめるための面接を行い点数化する。 	
知能情報コース	<p>〈筆記試験（数学・専門基礎）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門に関する基礎学力を確かめるために、数学、専門基礎の試験を課す。解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与える。 <p>〈面接〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物、学習意欲、将来計画、コミュニケーション能力（理解力、論理性、表現力）を評価して点数化する。 	

8. 出願手続

(1) 出願期間：平成 30 年 8 月 6 日（月）～8 月 10 日（金）

出願書類の受付は郵送に限ります。郵送は「書留速達」とし、「工学部第 3 年次特別編入学願書」と朱書してください。出願最終日は、平成 30 年 8 月 10 日(金)17 時必着とします。

(2) 送付先：琉球大学工学部学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

TEL 098-895-8583 (直通) FAX 098-895-8590

(3) 出願書類

①編入学願書（添付用紙）

②受験票・写真票（添付用紙）

③調査書（又は学業成績証明書）出身学校の長が作成し、厳封したもの

④志願者整理表（添付用紙）

⑤卒業証明書又は卒業見込証明書（大学在学中の者は在学証明書，大学中退者は在学期間証明書）

⑥専修学校出身者は，出身学校が発行する，修了した課程又は修了する課程が文部科学大臣の定める基準を満たしていることの証明書

※文部科学大臣の定める基準とは，「修業年限が 2 年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時間数が 1,700 時間以上」である。

⑦在留資格を証明するもの（外国人留学生のみ）

登録原票記載事項証明書，パスポートの写し，入国査証 (Visa) の写し等を提出してください。

⑧返信用封筒（受験票返送用）

長形 3 号封筒（縦 23 cm×横 12 cm）に 362 円分の切手を貼付し，出願者の郵便番号・住所・氏名を記入のうえ提出してください。

⑨検定料納付証明書（大学用）

添付の「検定料振込書」を使用し，検定料 30,000 円を下記方法により振り込んでください。

東日本大震災又は熊本地震により被災した志願者に係る検定料は特例措置により免除されます。詳しくは 11 ページをご覧ください。

検定料振込期間 平成 30 年 7 月 30 日（月）～ 8 月 10 日（金）

1. 振込方法

①検定料振込書の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。

《依頼日，入学志願者氏名（フリガナ），住所，電話番号，振込先（枠内に○印）》

②必ず金融機関（銀行等）の窓口で振込み，ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。

③振込手数料については，志願者本人負担となります。

④金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学用）」を受け取る際は，取扱金融機関収納印を確認してください。

⑤「検定料納付証明書（大学用）」は出願書類に同封して提出してください。

※本募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は，各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。

振込依頼人氏名は，先に募集区分（工学部第 3 年次特別編入学は 1 5 2 2），次に志願者本人氏名としてください。

例 1 5 2 2 ダ イ カ ク タロウ

・振込先口座，金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。

・受領書の写しを「検定料納付証明書（大学用）」の代わりに提出してください。

2. 留意事項

①検定料が振込まれていない場合，「検定料納付証明書（大学用）」が出願書類に同封されていない場合，「検定料納付証明書（大学用）」に取扱金融機関収納印がない場合は，出願書類を受理しません。

②既納の検定料は次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

ア．検定料を振込んだものの，出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり，書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）

イ．誤って検定料を二重に振込んだ場合

※上記ア，イに該当する場合は，本募集要項添付の「返還金払戻請求書」に必要事項を記

入し、払戻の理由を選択、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書（大学用）」を同封して下記へ送付してください。

（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。）

（返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種別・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。）

送付期限：平成31年3月29日（金）

送付先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL：098-895-8058

ウ. 特例措置対象者（11 ページ参照）が検定料を振込んだ場合。

※上記ウに該当する場合は、返還手続（11 ページ参照）を行ってください。

9. 受験に関する注意

- (1) 試験場は、できるだけ事前の下見をしておいてください。なお、試験場の試験室配置図及び注意事項は、試験前日の午後3時以降に掲示します。
- (2) 試験当日は、4 ページに記載の集合時刻までに各コース指定の集合場所へ集合してください。なお、試験室への入室は監督者の指示に従ってください。
- (3) 試験室へ入室し、座席に着いたとき、受験票の「受験番号」と机に貼ってある「受験番号」が同じであることを確認してください。
- (4) **試験開始時刻（面接（口頭試問を含む）においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。**
- (5) 試験室の机上には、本学の受験票、時計（計時機能だけのもの）、筆記用具「鉛筆（HB）、シャープペンシル（HB）、消しゴム、鉛筆削り（電動式を除く）」のみを置いてください。それ以外の所持品は、監督者の指示に従ってください。なお、機械工学コース、エネルギー環境工学コースでは関数電卓を用いる場合がありますので各自で持参してください。
- (6) 問題用紙は、試験開始の合図があるまで絶対に開かないでください。
- (7) 解答用紙には、受験番号を正確に記入してください。受験番号の記入もれ又は誤記がある場合は、無効とすることがあります。
- (8) 試験中に不正行為をしたり、あるいは解答用紙等を試験室外に持ち出した場合は、無効となります。
- (9) 試験中に質問、用便、身体の不調がある場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- (10) 試験開始後35分以内の退室は認めません。試験開始後35分以降は退室できます。試験時間終了前に退室する場合は、挙手をして監督者の指示に従い、静かに退室してください。
- (11) 解答用紙は解答の如何にかかわらず、必ず提出してください。
- (12) **携帯電話、スマートフォン等の音の出る機器は試験室に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。**
- (13) 悪天候等による交通機関の遅延・欠航・運休が予想される場合は、十分な時間的余裕をもって試験会場に到着するようにしてください。
- (14) 入学試験を欠席する場合は、事前に工学部学務係（098-895-8583）へ連絡してください。
- (15) 咳、くしゃみ、鼻水等の症状がある場合には他人への感染を防止するため、マスクを着用してください。
- (16) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、既に受験した個別学力検査等の成績も無効になります。
 - ① 編入学願書、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ② カンニングをしたり、カンニングの手助けをすること。
 - ③ 試験時間中（控え室での待機中も含む）に試験監督者等に許可なく携帯電話やスマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。また、これらの機器をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
 - ④ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

- ⑤ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ⑥ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑦ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑧ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

10. 合格者の発表

平成 30 年 9 月 7 日（金）

午前 11 時に工学部 1 号館 101 工学部事務室前に掲示するほか、合格者に合格通知書を送付します。また工学部ウェブサイト (<http://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/>) 上にも掲載します。

合格通知を受けた者は、特別編入学確約書を平成 30 年 9 月 18 日（火）までに提出してください。同日までに提出がない場合は辞退したものと取り扱うこととなりますのでご留意願います。

11. 追加合格・第2次募集

合格者の入学辞退等により、募集人員に満たない場合は、追加合格または第 2 次募集により欠員を補充する場合があります。

12. 入学手続及び諸経費

入学手続等については、特別編入学確約書提出者に対して平成 31 年 2 月中旬に「入学手続案内」を送付しますので、それに従い入学手続を行ってください。

なお、入学手続期間は、平成 31 年 3 月中旬を予定しています。

(注) 出願資格(2 ページ参照)の「他の大学において平成 31 年 3 月 31 日をもって 2 年間在学(休学期間を除く)し、62 単位以上を修得見込みの者」が、合格した後、これらの要件を満たすことができない場合は、入学することができません。

入学料は銀行振込となります。詳細は「入学手続案内」で通知します。

- ① 入学料 282,000 円（予定額）
- ② 授業料（前期分） 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

(注 1) 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

(注 2) 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

(注 3) 入学料の免除又は徴収猶予あるいは授業料の免除を希望する者（対象者については、合格者に送付する「入学手続案内」で詳しく説明します。）は所定の免除申請手続きを行うことにより、免除又は徴収猶予の可否が決定されるまでの間、入学料又は授業料の納付が猶予されます。

13. 編入学後の単位認定及び履修

高等専門学校及び大学等で修得した単位を、本学における授業科目の単位として読み替える申請があった場合、既得科目の内容が、原則として認定を希望する本学の授業科目と同等とみなされ、かつ、単位数が同一又は多い場合に限り、本学の当該授業科目の範囲内で認めることがあります。

高等専門学校については、既得科目のうち、高学年（4・5学年）で開講される科目を認定の対象とします。ただし、高学年以外の授業科目であっても、内容が大学学部の授業科目と同程度であることが証明できる場合は、認定することがあります。

単位認定の申請に際しては、入学手続期間内に単位認定資料（授業内容と評価方法、評価基準が分かるシラバス、成績証明書、教科書など）を提出してください。単位認定資料の提出がない場合は、単位が認定されない場合があります。

社会基盤デザインコースでは、編入学者の前の高等教育機関が、JABEE 認定プログラムの場合は、上述の単位認定資料を基に単位認定を行います。非 JABEE 認定プログラムの場合は、上述の単位認定資料に加えて、修得科目のレベルを口頭試問で確認・評価し、単位認定を行います。

なお、単位認定状況及び修学状況によっては、本学を卒業するのに修業年限（2年）を超える年数を要することがあります。

14. 第3年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い(高等専門学校出身者)

編入学前の既修得単位を単位認定した科目について、教員免許取得のための教科に関する科目として適当であると認めた科目の単位の取扱いは以下のとおりとなります。

教育職員免許法施行規則第66条の7

高等専門学校（第4学年及び第5学年に係る課程に限る）で修得した科目に係る科目で教科に関する科目として適当であると認めた科目



高等学校教諭普通免許状については10単位を限度

15. 受験時における合理的配慮等について

本学に入学を志願する者で、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）第2条第1号に定める障害者（身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する）がある者であって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう）で、受験時に合理的配慮を必要とする者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に申請してください。

本学において申請された配慮事項について検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通知書」により通知します。検討結果通知書の受領後は記載事項を確認し同封の書類をご返送ください。

なお、合理的配慮の内容によっては対応に時間を要する場合がありますので、できる限り早めに申請してください。

○申請方法

本学指定の様式「受験時における合理的配慮申請書」を平成30年7月23日（月）午後5時までに障がい学生支援室へ提出してください。障がい学生支援室が必要と判断した場合は、本学において志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

「受験時における合理的配慮申請書」の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ

(<http://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>) 「支援を希望される皆さまへ」からダウンロードできます。

また、上記以外で疾病・負傷等により、受験時に特別な配慮を必要とする者も、平成30年7月23日（月）午後5時までに本学障がい学生支援室に電話、FAX又はメールでご相談ください。

連絡先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

国立大学法人琉球大学障がい学生支援室

電話 (098) 895-8750 FAX (098) 895-8791

メール g-support@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

○受験時における合理的配慮申請書（イメージ）：申請書はダウンロードしたものを提出ください。

琉球大学 障がい学生支援室長 殿		様式 1 号	
受験時における合理的配慮申請書			
※太枠内の必要事項について、記入願います。		申請日：平成 年 月 日	
(ふりがな)	印	生年月日	昭和・平成 年 月 日
志願者氏名			
住所			
連絡先	電話番号：	携帯電話：	
緊急連絡先 (保護者等)	氏名：	電話番号：	本人との関係：
出身学校		担当者	
卒業(見込み) 年 月 日	平成 年 月 日	卒業見込み (学校)	連絡先
志願学部・学科・専攻・コース等	琉球大学		
入試区分 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 一般(前期) <input type="checkbox"/> 一般(後期) <input type="checkbox"/> 推薦 <input type="checkbox"/> AO <input type="checkbox"/> 社会人 <input type="checkbox"/> 帰国子女 <input type="checkbox"/> 私費外国人 <input type="checkbox"/> 編入学 <input type="checkbox"/> 大学院		
センター試験時の対応	センター試験の受験有無 <input type="checkbox"/> 受験した (<input type="checkbox"/> センター試験での配慮有り:配慮時の資料要添付) <input type="checkbox"/> 受験していない		
障がい種別 診断名等		診断書等の写し	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
受験時の合理的配慮を希望する事項とその理由	(裏面参照)		
出身学校で取られていた特別措置			
日常生活の状況			
入学後における配慮	入学後における合理的配慮の希望有無 <input type="checkbox"/> 配慮を希望する(裏面参照) <input type="checkbox"/> 配慮を希望しない		
その他特記事項			

16. 東日本大震災又は熊本地震により被災した平成 31 年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置

平成 30 年度に実施される入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除 30,000 円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対象者	必要書類
①東日本大震災又は熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書
イ 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
②居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書

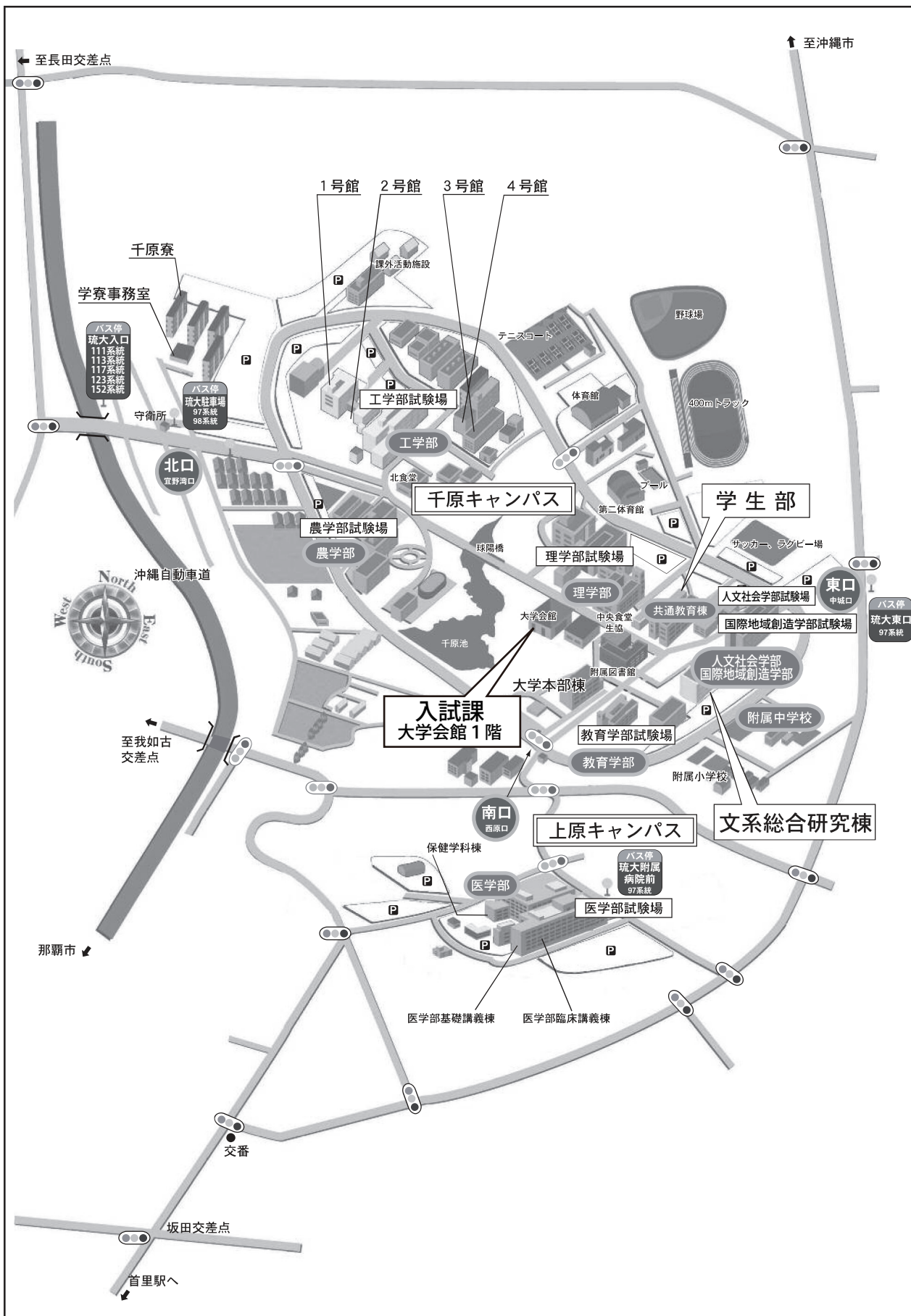
(3) 申請の方法

入試区分	申請方法
第 3 年次特別編入学入試	<p>本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。</p> <p>なお、申請する場合は、「検定料」を振込まないでください。</p> <p>また、既に納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて工学部学務係へ申請してください。申請後、検定料を返還します。</p> <p>※返還金払戻請求書の提出期限は、平成 31 年 3 月 29 日（金）までとします。</p> <p>提出先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地 国立大学法人 琉球大学工学部学務係 TEL 098-895-8583（直通）</p>

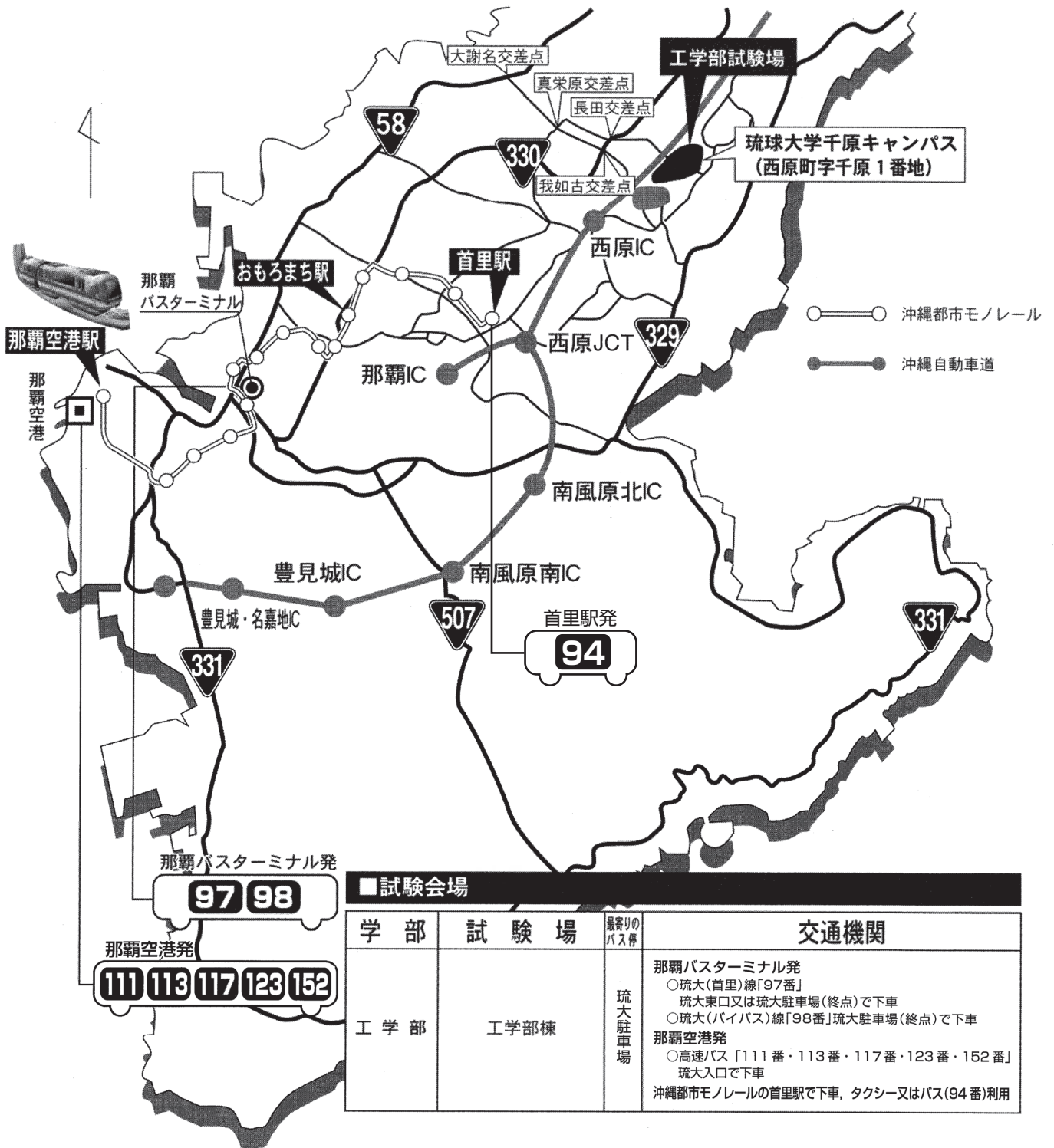
17. 出願に関する第2志望の取扱い(機械工学コース・エネルギー環境工学コース)

- ① 第 1 志望として機械工学コース又はエネルギー環境工学コースに出願する者は、第 2 志望としてエネルギー環境工学コース又は機械工学コースに出願することができます。
- ② 第 1 志望のコースに合格した場合は、第 2 志望のコースの合否判定の対象者とはしません。
- ③ 合否判定においては、第 1 志望とする者及び第 2 志望とする者（第 1 志望のコースへの合格者を除く）を対象者とし、総合得点の上位から順次合格者とします。
- ④ 上記③において、第 2 志望とする者が第 2 志望のコースの合格者となった場合は、その者を第 1 志望のコースの追加合格候補者としません。

18. 試験会場案内図



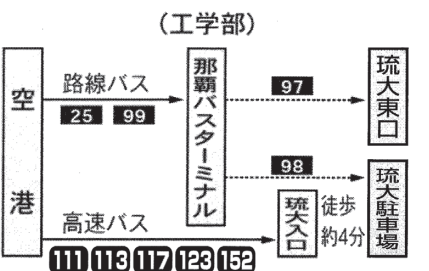
19. 琉球大学案内図



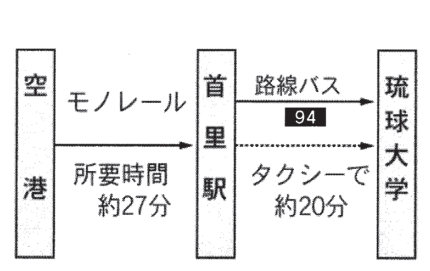
■試験会場

学部	試験場	最寄りのバス停	交通機関
工学部	工学部棟	琉大駐車場	那覇バスターミナル発 ○琉大(首里)線「97番」 琉大東口又は琉大駐車場(終点)で下車 ○琉大(バイパス)線「98番」琉大駐車場(終点)で下車 那覇空港発 ○高速バス「111番・113番・117番・123番・152番」 琉大入口で下車 沖縄都市モノレールの首里駅で下車、タクシー又はバス(94番)利用

■空港からバスで琉球大学へ



■空港からモノレールで琉球大学へ



第3年次特別編入学願書記入要領

入学願書の記入にあたっては、黒か青色のインク又はボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入してください。

1. 志望コース

志望するコース（第1志望のみ）を○で囲んでください。機械工学コース又はエネルギー環境工学コースの志願者で、第2志望としてエネルギー環境工学コース又は機械工学コースを希望する者は指定欄に○を記入してください。（11ページの第2志望の取扱いを参照）

2. 氏名・性別等

氏名は戸籍上の氏名を記入し、性別は該当する文字を○で囲んでください。

3. 連絡先

本学からの通知等は、すべてこの住所宛に行うので正確に記入してください。変更があった場合は、琉球大学工学部学務係（098-895-8583）に連絡してください。

4. 出願資格

出身学校の所在地（都道府県名のみ）、設置者の別（国立、公立、私立の該当する文字を○で囲んでください）、学校名、学部名、学科名・課程名等を記入してください。

5. ※印欄は記入しないでください。

平成 31 年度
琉球大学工学部

受験票

第3年次特別編入学

受験番号	※	
志願学部 ・学科	工学部 工学科	
志望コース	コース	
受験科目 <small>(機械工学コース、 エネルギー環境工 学コースのみ記入)</small>		
フリガナ		男 ・ 女
氏 名		
		写真貼付欄 (上半身・脱帽・ 正面向きで、出 願前3ヶ月以内 に撮影したもの) 縦4cm×横3cm

記入上の注意

1. 志望するコース名(第1志望のみ)を記入してください。第2志望のコース名を記入しないようにご注意ください。
2. 機械工学コース, エネルギー環境工学コースへ出願する場合は, 本募集要項3ページから受験科目を2科目選択し, 記入してください。
3. 出願の際は, 破線部から丁寧に切り離してください。
4. ※印欄は記入しないでください。

平成 31 年度
琉球大学工学部

写真票

第3年次特別編入学

受験番号	※	
志願学部 ・学科	工学部 工学科	
志望コース	コース	
フリガナ		男 ・ 女
氏 名		
※ 出席欄		写真貼付欄 (上半身・脱帽・ 正面向きで、出 願前3ヶ月以内 に撮影したもの) 縦4cm×横3cm

受 験 心 得

- (1) 試験当日の集合場所・集合時刻については、4ページをご確認ください。
- (2) 試験開始時刻（面接（口頭試問を含む）においては集合時刻）から30分を超えて遅刻した者は、受験できません。
- (3) 不正行為のあった者は、直ちに退室を命じます。
- (4) 受験に際しては、本受験票を必ず携帯してください。
- (5) 本募集要項7ページの「9.受験に関する注意」を熟読してください。
- (6) 機械工学コース又はエネルギー環境工学コースに志願する者は関数電卓を持参してください。

検定料免除申請書

平成 年 月 日

国立大学法人琉球大学長 殿

(請求者)

受付番号 (大学側で記入)

入学者選抜試験の種類

■第3年次特別編入学

出願学部 工学部 工学科 _____ コース

フリガナ

志願者氏名 印

住 所

電 話

平成23年3月11日に発生した東日本大震災又は平成28年4月14日に発生した熊本地震において、下記のとおり被災しましたので、被災証明書等を添付の上、検定料の免除を申請します。

記

被災状況 (該当箇所をチェックしてください。)

- 全壊 大規模半壊 半壊 流出
学費負担者死亡又は行方不明
福島第一原子力発電所事故による避難区域等

(記入上の注意)

- この検定料免除申請書はコピーして使用してもよい。

返還金払戻請求書

国立大学法人
琉球大学長 殿

請求者

〒

住 所

フリガナ

氏 名

印

電話番号

私が平成 年 月 日に納付した検定料

円について、以下の理由により払戻を請求します。

1. 誤納
2. 出願辞退 ※受験辞退ではなく、出願しなかった方が対象です。
3. 書類不備等による出願書類の不受理
4. 東日本大震災において被災
5. 熊本地震において被災
6. その他()

次の銀行口座へ振り込んでください。

フリガナ				保護者名義の 場合の続柄
口座名義				
取引金融機関名 本・支店名	銀行		支店	
預金種別	1 普通		2 当座	
口座番号	(店 番)	-	(口座番号)	

預金種別欄は、該当項目番号を○で囲んでください。

[注意]

- ※ 請求者は志願者本人としてください。
- ※ 保護者等、請求者以外の口座名義を指定する場合は、続柄も記入してください。
- ※ ゆうちょ銀行口座へ振込を受ける場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が必要です。振込用の店名・店番・預金種目・口座番号が分からない場合は、口座を開設したゆうちょ銀行へご確認ください。
- ※ 封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。
- ※ 返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。

取扱金融機関収納印が押印された
検定料納付証明書(大学用)
をこの枠内に貼り付けのうえ、ご提出
ください。※払戻理由のうち、4. 東日本大震
災において被災 又は 5. 熊本
地震において被災 を選択された
場合は貼り付け不要です。※各金融機関備付の振込依頼書
で振り込んだ場合は、受領書を
ご同封ください。送付先 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学財務部経理課収入・支出係
TEL:098-895-8058

記入上の注意

- 「**検定料振込書**」の※印欄を黒のボールペンで正確に記入してください。《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（**大学用**）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。
- 「検定料納付証明書（**大学用**）」は**出願書類に同封して提出**してください。

検定料振込書

検定料納付証明書（大学用）

★出願書類に同封して提出ください。

※依頼日	年 月 日	
金額	¥30,000-	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	手数料 金額 現金 内訳
※（志依頼願者）	募集区分 1522 （フリガナ） 氏名	
平成31年度 琉球大学 検定料 工学部 第3年次特別編入学		



（取扱店→振込人→大学）

振込金（兼手数料）領収書

※依頼日	年 月 日	
振込金額	¥30,000-	手数料
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	
※（志依頼願者）	受取人 口座名 （フリガナ） 氏名	
平成31年度 琉球大学 検定料 工学部 第3年次特別編入学		



上記のとおり領収しました。

（取扱店→振込人）

（振込前に志願者で切離し）

- 取扱店へのお願
 - 太枠内を打電してください。
 - 募集区分、フリガナに打電してください。
- （振込時金融機関で切離し）

振込依頼書

※依頼日	年 月 日	
※振込先	琉球銀行宜野湾支店（普通） 428711 沖縄銀行我如古支店（普通） 1540366 沖縄海邦銀行真栄原支店（普通） 0563358 みずほ銀行那覇支店（普通） 1478859	手数料 金額 現金 内訳
※（志依頼願者）	募集区分 1522 （フリガナ） 氏名 ※（住所）	
取扱店 国立大学法人 琉球大学 コリツダ 伊 知 ヲシノ リュウキュウガ 伊 ガリ		

（電話番号）

平成31年度 琉球大学 検定料
工学部 第3年次特別編入学
【納入期間】
平成30年7月30日（月）から
平成30年8月10日（金）まで



（取扱店用）

志願者整理票

※ 印欄は記入しないこと。

琉球大学工学部第3年次特別編入学者選抜試験

受験番号 (記入しないこと)	(フリガナ)	性別	男・女	出身学校名	学科名
	氏名	出身学校所在 都道府県名			
※			男・女		

注意：この整理票は、シールになっているので、はがれないように取り扱うこと。

合格通知書送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住所 (〒)

氏名 殿

(※受験番号)

入学手続書類送付先 (団地・棟・号や下宿先等を必ず記入すること。)

住所 (〒)

氏名 殿

(※受験番号)

受験生の航空券・宿泊のご案内について

琉球大学生生活協同組合
(沖縄ツアーリスト 福岡支店)

はじめまして、琉球大学生生活協同組合です。

当生協では、学内で教科書・教材・文具・パソコン・食品・食堂運営、ホテル・旅行のお取り扱い、アパート紹介、公務員試験対策講座などを行っております。

このたび、琉球大学を受験される皆様の便宜を図るために、ご希望の方には沖縄ツアーリスト福岡支店より那覇市内の提携ホテルや各地より沖縄への航空券をお世話させていただきます。

(1) 申込先

沖縄ツアーリスト(株)福岡支店

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-13-17 福岡天神 1丁目ビル 8F

電話 (092) 718-0980 FAX 092-718-0970

(2) 申込方法

電話又はFAXで(間違いを防ぐため出来るだけFAXをご利用ください)

○受験者氏名 ○年齢 ○性別 (○付添人氏名 ○年齢 ○性別) ○住所 ○郵便番号

○電話番号 (FAXがあればFAX番号も) ○本人又は家族の方の携帯電話番号

○宿泊希望日 ○航空機利用希望日・利用希望時間帯 ○出発空港名

を記入の上、下記の受付期間中にお申し込みください。

●FAXの場合は住所、氏名には必ずフリガナを付けてください。

後ほどこちらから電話で内容を確認させていただきます。連絡がとれる携帯などの電話番号を必ず記入ください。

(3) 申込受付期間

●平成30年8月10日(金)まで

・電話受付時間 9:30~18:00

(土曜日10:00~15:30/日祝は休み)

・FAXは24時間受付可

(4) その他注意事項

●航空券・部屋には限りがあります。期間中にお申し込みされても希望に添えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

●大学近くにはホテルがありませんので、那覇市内のホテルを手配いたします。